

# スペシャルイベント SPECIAL EVENTS

パネリスト(敬称省略)

【俳優】



■町田 政則 (まちだ まさのり)

1955年神奈川県出身。子役としてデビューし、石井輝男監督の作品に多数出演。「網走番外地」に出演した当時は、劇団ひまわり所属し、その後、東映演技研修所に第6期生として入り、東映俳優センターに移籍。現在は、ぶろだくしょんバオバブに所属し、俳優業の他、海外ドラマの吹き替え(声優)も多い。趣味・特技は、乗馬、スキューバダイビング、居合道(2段)、杖道(2段)。テレビではNHK「最後の忠臣蔵」、「真夜中は別の顔」、「火曜サスペンス劇場「呪われた女」、「顔斬り」、「探偵 左文字進」、「相棒 Season9 第15話「もがり笛」」(11)など多数出演。映画は、子役に「網走番外地 南国の対決」、「座頭市海が聞こえる」、「大臣獣ガッパ」があり、「暴力戦士」、「ウルトラマンティガ」、「真夜中は別の顔」、「暴力の季節」、「ホテル」、「鉄道員」、「白蛇抄」、「誘拐報道」、「極道の妻たち」、「ミステリー」、「盲獣VS一寸法師」など多数出演。ポッカコーヒーなどのCM出演も多い。近年は、劇団東京倶楽部の演劇のほか、声優としてテレビアニメの「獣の奏者 エリン」(09)、「バトルスピリッツ ブレイヴ」(10・賢者メタルカス)、「名探偵コナン」(10 男、通行人)、「銀魂」(11 オジキ、じいや)、「LUPIN the Third -峰不二子という女-」(12 ハイジャック犯B)、「AKB0048 next stage」(13 裁判官)、「宇宙兄弟」(13 北村父)でも活躍している。



■酒井 敏也 (さかい としや)

1959年生まれ、岐阜県出身。俳優を目指して脱サラ。つかこうへいの秘蔵っ子俳優と言われ、テレビドラマ「弟よ！」でデビュー、つか作品に数多く出演した。趣味は粘土細工。「ナニコレ珍百景」では動物の粘土細工を作製し披露した。独特のキャラクターとルックスで、個性的な役柄を次々と演じ、またバラエティでもその特異な雰囲気を生かし大活躍。テレビ界及び演劇界になくしてはならない存在としての地位を確立している。最近の主な出演作は、フジテレビ「PRICELESS〜あるわけねえだろ、んなもん!〜」、テレビ朝日「信長のシェフ」、舞台「ロックオペラ モーツァルト」など多数。映画では、「セーラー服と機関銃」(81)、「蒲田行進曲」(82)、「熱海殺人事件」(86)、「青春かけおち篇」(87)、「Love Letter」(95)、「守ってあげたい!」(99)、「風花」(01)、「NIN×NIN 忍者ハットリくん THE MOVIE」(04)、「ぼくたちと駐在さんの700日戦争」(08)、「かずら」(10)、「太平洋の奇跡ーフォックスと呼ばれた男ー」(11)、「市民ポリス69」(11)、「JAZZ爺MEN」(11)など多くに出演。また、永谷園「あさげ」、ヤクルト本社「タフマン」などCM出演も多い。



■木下あゆ美 (きのした あゆみ)

1982年生まれ、愛知県出身。「特捜戦隊デカレンジャー」(EX系04)の礼紋茉莉花/デカイエロー役に鮮烈なデビューを飾る。「怒み屋本舗」(TX系06〜)シリーズでは主演の怒み屋を務め、その伶俐な眼差しに秘めた力強さで、当たり役ともいえる作品で人気を博す。また、ジャパニーズアクションの先駆者であるビッグネーム千葉真一VS倉田保昭が話題となった「マスター・オブ・サンダー〜決戦!! 封魔龍虎伝〜」(06 監督:谷垣健治)では、非凡なるアクション女優としての才能を披露し、注目を浴びた。また、「ガラスの仮面」(TX系)では声優にも挑戦し、以後テレビ、映画、声優としても幅広く活躍中。主な映画出演作に「真木栗ノ穴」(08 監督:深川栄洋)「ナチュラル・ウーマン2010」(10 監督:野村誠一)「わたし」の人生 我が命のタンゴ(監督:和田秀樹)「仮面ライダーフォーゼ THE MOVIE」(監督:坂本晃一)が2012年8月劇場公開した。また、「戦 極」では、長期に渡る本格的なアクショントレーニングに挑み、仕込みトランパーを操る主演のヒロイン・アイカを演じた。



■岡田 英二 (おかだ えいじ)

1970年6月3日生まれ、北海道出身。28歳で単身渡米。極真空手2段(指導員)。ジェームス岡田としてハリウッドデビュー。空手、テコンドー、詠春拳、忍術、ジークンドーなど、あらゆる武芸をこなす。現在は、東京都足立区にてアダチアクションアカデミーの主宰として、後進の育成にも力を入れている。主な出演作品に「スコピオン・キング」(02)、「ラスト・サムライ」(03)、「真・兎野生の闘牌」(13)などがあり、「戦 極 BLOODY AGENT」(14予定)では、存在感のある秀悦なアクションを披露している。

【お笑い芸人】



■ハローケイスケ (はろーけいすけ)

1970年生まれ、大阪府府中市出身。七三分けの髪型とサングラスがトレードマーク。観客に対して、「該当する者は手を挙げるように」と前置きした上でおもしろおかしいアンケートをとるネタをしている。2004年から日本テレビのエンタの神様に出演して話題に。同番組では2005年から「ドクターハロー」と名乗っている。地方でのステージの際は、その土地に合ったアンケート内容で地元ファンを盛り上げている。2008年8月30日によしもと浅草花月にて、デッカちゃんとのコンビ「スッテンコロリン」として初出演(ハローケイスケは「スッテン」担当)。このコンビで、2008年、2009年のM-1グランプリにも出場した(一回戦追加合格)。2012年4月18日より、あなたの街に住みますプロジェクトの「北海道2代目「住みます」芸人」として、1年間網走市に在住した。

【進行】



■高橋 和憲 (たかはし かずのり)

1948年、網走市生まれ。網走南ヶ丘高校卒、1971年、電気通信大学から共同通信社外電部に入社。技術職員として国際ニュースを配信するネットワークの保守管理と無線通信の運用を担当。1987年〜1990年、大阪支社技術部、全国47都道府県の新聞社と放送局にニュースを配信するコンピュータの管理運用、記者に同行し、取材現場から記事・写真・映像を電送する業務に従事。2002年〜2005年、名古屋支社技術部長、2008年6月、東京本社技術部長職を定年退職した。退職後、故郷Uターンし旧呼人郵便局をリフォーム、2009年、自営の事務所・共同インフォメーションを設立。初心者向けパソコン教室を表看板にし、オホーツク網走フィルムフェスティバルのほか、網走ジャズフェスティバルなどまちおこしイベントに積極的に参加。映画「大地の詩」では刑務所職員役としてエキストラ出演する。原作「留岡幸助物語」の著者・藤井常文氏は高校時代の同級生。



■平野 雅久 (ひらの まさひさ)

網走市生まれ。東海大学卒。市職員採用後、都市開発課、社会福祉課などの部局や北海道庁への出向を経て、現在、網走市監査事務局に勤務。この間、一級建築士などを活かして、確認申請や開発行為の審査担当を経て、都市計画、太陽光発電の推進、清沸湖水鳥・湿地センターの整備など、幅広い業務に携わる。2008年、数々の映画のロケ地・オホーツクの魅力をPRし、映画館の無い網走で映画を観る・語る・創る文化を育もうと映画祭「オホーツク網走フィルムフェスティバル」を有志と企画し、博物館網走監獄で初開催。2年目からは会場をエコーセンターに移動。「網走番外地」シリーズのほか、網走で撮影された「ケンタとジュンとカヨちゃんの国」や中国映画「狙った恋の落とし方。」など多くの網走上映を実現した。また、ロケ地の支援、ロケ地マップの作成、監督を講師に招き「映画教室」の開催など、「映像資源」を活かした文化活動を展開。「大地の詩」(11)では、刑務所の看守役としてエキストラ出演している。

## オホーツク網走フィルムフェスティバル実行委員会(2013)

オホーツク・網走において、映像と創作活動を支援し、映画上映、映画対談、映画教室、交流会などを通して、映画に親しむ環境を創出し、地域資源を活かした「映像文化」と「まち」の振興を進めます。

飯田 誠	石川 遼	石田 薫雄	伊藤 正範	伊藤 芳憲	円城寺 葵	太田 礼香	大西 祐樹	大庭 幹則	小川 実咲	奥村 修平	影山 佳那
加藤 杏奈	加藤 典幸	菊地 綾子	斉藤 篤	斎藤真利菜	佐藤 直樹	佐藤 直信	佐藤ひとみ	沢田 孝之	塩島 寛	志賀 聖哉	柴田 康則
清水 克樹	下村 翔太	下村 僚	下山 周平	杉山 盛行	鈴木 春香	平 成晴	田形 一貴	高橋 和憲	武田 晃	長岡 慎	永倉 恒輝
中嶋 賢一	中津川友幸	中野 雅充	中村 圭	中山 寿一	新美あおい	浜名みゆき	浜名 靖博	浜谷 翔	平野 雅久	福田 隆弥	松野裕美子
松村 香奈	三品 聡	矢野 裕史	山本 祐揮	吉岡 祐亮	ほか ボランティア ※敬称略/50音順						